



ICTで子どもの 学びが変わる

分かるが面白い！
授業が楽しい！
八戸市の
GIGAスクール構想

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、テレワークやオンライン会議といったICT活用が急速に進展しています。学校教育の現場でも、子どもたちの学びを止めない、教育格差を生じさせないためICTを活用した教育の早期実現が不可欠になっています。

市教育委員会では、令和2年度に学校のWi-Fiなど通信環境を整備し、市内小・中学校全児童生徒へ1人1台端末を整備しました。また、児童生徒や先生のための学習用コンピュータ利用の手引きや指導の手引きを作成、各校での操作研修や授業づくり研修も行っています。

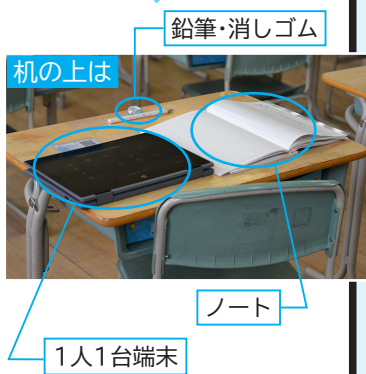
ICTとは？

Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。パソコンやスマートフォンなどコンピュータを使った情報処理や通信技術で、人と人、人との情報や知識を共有すること。

GIGAスクール構想とは？

1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワーク環境を一体的に整備し、多様な子どもたちを一人も取り残すことなく、個性に合わせた学びの実現と、先生の業務支援などを目指します。

ICTを取り入れた授業を行っている小中野小学校の様子をのぞいてみました



2年生(国語)

季節の言葉調べ学習。分からない言葉を調べるために、どんなキーワードで検索するとよいか、みんな意見を出し合います。



3年生(国語)

ローマ字入力。タイピングアプリを使って、先生よりも速く、そしてとても正確に入力できています。



5年生(算数)

自分の考えを書き込んだら、全員の画面を大型ディスプレイで提示。友達がどのようにして考えたかを推測し、共有することができます。

ICTを活用した教育《可能性と課題》

① 1人1台端末はみんなとつながる文房具

教科書やノート、鉛筆などの文房具と同じように勉強に欠かせない道具のひとつとして使い、みんなの意見を共有でき、一緒に考えを深めていくことができます。

② 家庭での学習に活用するために

家庭に持ち帰って利用することも徐々に広めていくため、市内の全家庭のネットワーク環境の調査を行っています。家庭でも子どもたちに学びの格差が生まれないように環境を整える必要があります。

③ 今まで以上に情報モラルの徹底を

学校生活の中にさまざまなルールがあるように、インターネットの世界にもルールがあります。インターネットの世界は公共の場であり、その向こう側には自分と同じ人がいることを意識していかななくてはなりません。